

2026 年 6 月 23 日

頌栄短期大学にも 4 月から留学生が入学しました

御影山手自治会

◆ 頌栄短期大学からの説明（2026 年 6 月 18 日受領）

本学院の短期大学では、国籍に関係なく学生に保育の学びの機会を提供しており、日本の法令に反しない限り、外国籍を理由に何らかの制限を加えることはできませんし、しておりません。そのため当然のことながら、学生の登下校の時間帯及び登下校ルートは学生の自由であり、交通手段をどのようにするかも学生の自由であると考えております。

① 2026 年 4 月 留学生 22 名入学しました。

② 頌栄短期大学では、日本人学生と外国籍学生とを同様に扱っており、キャンパスを利用することや、登下校のルート・手段等は制限しておりません。

◆ 学生の登下校に関して

御影山手の住民の方から、「御影霊園の東の道で 10 名程度の留学生が登校するのを見かけたが、こちらへの説明のルールを違反して、アートカレッジ神戸の学生が別ルートを通して登校してのではないか？」と連絡がありました。それら学生は頌栄短期大学の学生だったと思われましたので、頌栄短期大学に 4 月に入学した留学生、およびその登下校に関して文書での説明をお願いし得られたのが上記の文書です。

もう少し詳しい説明が必要と思い、自治会がアートカレッジ神戸に再度確認したところ「アートカレッジ神戸の学生は既にお知らせしているルートを通して、お知らせしている時間帯に必ず登下校していますし、警備員や教職員がルート上の要所に立ち指導をしており、今後もこの登下校のルールは変わりません」とのことでした。

同じ神戸学園グループの①アートカレッジ神戸 御影キャンパス と、②頌栄短期大学で登下校に関して学生への指導方針が異なります。留学生がどちらの学校の学生かの区別はできませんので紛らわしいです。人数は 20 名程度ですが別ルートを通り、時間帯も異なり登下校する留学生がいることをご理解下さい。